



MAKINOHARA

広報まきのはら

ふれあいビタミンあいのまち
うみ・そら・みどりと共に生きる

健やかに

つるし雛展(大鐘家)

特集 平成24年度牧之原市表彰
功績をたたえる

特集 平成25年牧之原市成人式
笑顔の門出

February
2013
NO.137

2

交通防災功労



大石公洋さん（坂部）

22年間、消防団員として尽力。平成20年度から団長を務め、市民の生命財産の安全確保や団員の資質向上に尽力されました。

教育文化功労



増田正孝さん（須々木）

15年間、青少年健全育成推進員として非行防止活動や青少年を守るために環境浄化活動に尽力。次代を担う青少年の健全育成に貢献されました。

教育文化功労



鈴木鉄司さん（牧之原）

17年間、青少年健全育成推進員として非行防止活動や青少年を守るために環境浄化活動に尽力。次代を担う青少年の健全育成に貢献されました。

平成24年度牧之原市表彰 牧之原市新春初顔合わせ会

功績をたたえる



市新春初顔合わせ会で表彰式に臨む受賞者

さまざまな分野で永年にわたり活躍され、市の発展に寄与された個人や団体を表彰する「牧之原市表彰」が1月7日、「牧之原市新春初顔合わせ会」の席上で行われました。多大な貢献をされた13個人と1団体、1組を表彰しました。

問い合わせ 秘書広報課 戸塚 ☎052

ボランティア等善行功労表彰



本間康式さん（細江）

榛原総合病院の支援活動に率先して尽力。病院ボランティア協議会会長に就任し、住民が支える地域医療体制の構築に寄与されています。

交通防災功労



河村泰弘さん（坂部）

21年間、消防団員として尽力。平成20年度から副団長として、団長を補佐するとともに団員の資質向上に尽力されました。

交通防災功労



棟地秀喜さん（白井）

17年間、消防団員として尽力。平成19年度から副団長として、団長を補佐するとともに団員の資質向上に尽力されました。

地方自治功労



神崎勝司さん（坂部）

12年間、坂部財産区議会議員として財産区の適正な運営と事業の推進に尽力。地域住民の福祉の増進に貢献されました。

地方自治功労



佐藤貞司さん（坂部）

16年間、坂部財産区議会議員として財産区の適正な運営と事業の推進に尽力。地域住民の福祉の増進に貢献されました。

地方自治功労



池ヶ谷嘉男さん（坂部）

16年間、坂部財産区議会議員として財産区の適正な運営と事業の推進に尽力。地域住民の福祉の増進に貢献されました。

感謝状



桑原啓郎さん 京子さん

菅原小学校児童が作詞した「かがやけ菅原」に作曲家による曲を付け、同校へアップライトピアノとともに寄付されました。

ボランティア等善行功労表彰



牧之原市花の会

花壇づくりボランティアとして沿道の花壇や公共施設に花を植栽し、年間を通して除草や維持管理に尽力。地域の環境美化に貢献されています。

ボランティア等善行功労表彰



河合晴和さん（牧之原）

平成15年度から軒先運動推進員として、児童生徒の通学時の見守りや安全指導に尽力。次代を担う児童の安全確保や健全育成に尽力されています。

教育文化功労



松下勝好さん（波津）

19年間、青少年健全育成推進員として非行防止活動や青少年を守るために環境浄化活動に尽力。次代を担う青少年の健全育成に貢献されました。

教育文化功労



久保直明さん（大江）

23年間、青少年健全育成推進員として非行防止活動や青少年を守るために環境浄化活動に尽力。次代を担う青少年の健全育成に貢献されました。

地方自治功労



高橋世音さん（福岡）

18年間、固定資産評価審査委員として適正な固定資産税賦課のために尽力。公平中立な課税のために、貢献されました。

市では昨年4月から、東日本大震災の被災地である福島県南相馬市に職員を派遣しています。同市は、津波により多くの尊い命が奪われ家屋が流失するなど甚大な地震津波被害に加えて原発事故の影響を受け、今なお多くの市民が避難生活を余儀なくされています。職員派遣は、震災直後から燃料などの物的支援や協力をやってきた本市に対して、同市から直接要請があったもので、市では一刻も早い復興に向け、今年度は事務職員1人(1年間)と保健師3人(3ヶ月から半年の交代制)を派遣しています。市では、この派遣を今後の災害対応に役立てていきます。派遣職員に、現在の被災地の様子や今後について聞きました。

問い合わせ 人事研修課 野村 ☎0051

私は3ヶ月間という短期間でしたが、赤ちゃん訪問や乳幼児健診、高齢者認知症予防事業などを担当していました。健診や相談の場で母親たちと接する中で、今まで一緒に暮らしていた家族がバラバラになってしまったり、父と母、または子どもたちとも別々に暮らしている人たちがまだ多い印象でした。特に母親たちは心のケアを必要としており、南相馬市では健診で母親たちの今の気持ちをよく聞

くことを大切にしていました。その中で、今まで住んでいた南相馬市へ戻ってきたいと思っている方が多い反面、実際に放射線量の問題や仕事が無いなどの理由で、なかなかいことを痛感しました。震災後時間が経過し、復興したように見えて、私が今まで想像していた以上に多くの課題があることが分かりました。また、今回の派遣で自分自身考えさせられることが多く、この経験を今後の市の業務に生かしていきたいと思います。

復興には地域への思いやつながりが何よりの源になる

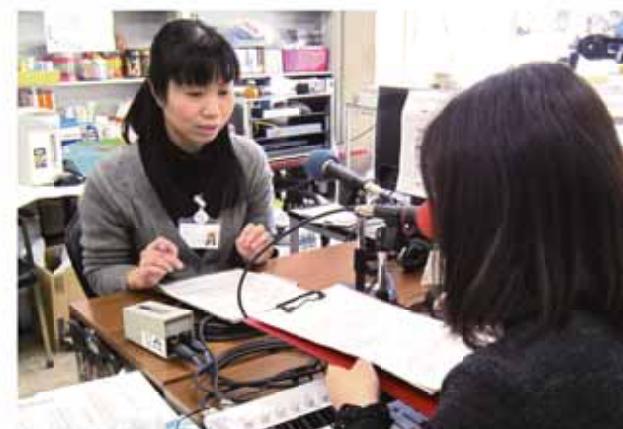


検診を受けに来た子どもに笑顔で対応する山口保健師（左）

山口 舞 保健師
(派遣期間：平成25年1月～平成25年3月)

健康づくり課 母子保健担当

復興したように見ても、まだまだ多くの課題がある



現地のラジオ放送で業務内容などを説明する佐々木保健師
佐々木香織 保健師
(派遣期間：平成24年10月～平成24年12月)

健康づくり課 母子保健担当

派遣先では、赤ちゃん訪問や乳幼児健診、学校での健康教育などを担当しています。こちらに来てまだ2ヶ月ですが、市民は地域に誇りを持ち、明るく元気で前向きな方が多いと感じました。不慣れな地域での生活ですが、将来的地域を担う子どもたちなどの話が聞ける貴重な毎日を送っています。小学校で、命の尊さを伝える「命の授業」後に、ある児童から聞いた言葉が印象に残っています。「母はいなくなってしまったが、母が苦労して産んでくれた命を大切にしたい」という

震災から約2年が経つ現在も警察車両が巡回し、人が安全に入れない地域もあります。以前人気があったというケーラーには「必ずこの地区で再開します」との張り紙があり、住み慣れた地域に戻ろうと今も努力されている被災者の思いが伝わってきます。災害に対する準備はもちらんのこと、復興に関するは地域への思いやつながりが何よりも努力されています。地域の実情を正確に伝えられるようになって帰りたいです。

市職員が東日本大震災の被災地で派遣職員として活躍

災害に備える

派遣当初は、まちの状況や職場の雰囲気を心配しましたが、市民や職員の方々は明るく前向きで、被災地と感じさせないほど活気があり、安心したことを思い出します。私は税務課に配属され、個人住民税や国民健康保険税の課税を担当しています。地震や津波被害の程度、原発からの距離などの被災状況に応じた課税の免除など、複雑な事務に、平常時では経験することのできない貴重な経験をさせていただいています。津波被災地の状況を視察した約一年前、防潮堤が破壊され、

れ、住宅地では基礎だけが残っているという悲惨な状況に衝撃を受けました。現在は復旧が進み、瓦礫が散乱した農地は瓦礫が撤去され、すくに作付けができるのではないかと思うほど整備されています。一方で、海岸線を見ると防潮堤は震災当時のまま放置されており、完全な復興はまだ先のことだと感じます。派遣を機に、いつ起こるか分からぬ災害への備えを万全に、今後の業務に取り組んでいきます。市民の皆さんにも、被災地と何らかの関わりを持つていただきたいです。

被災者の健康支援は必須 この経験を今後に生かしたい



認知症予防講座で高齢者に対して説明する植田保健師
植田春美 総括主任保健師
(派遣期間：平成24年4月～平成24年9月)

健康づくり課 健康企画業務担当

日ごろから災害への備えを万全に今後の業務に取り組む



個人住民税などの課税を担当している松井主幹
松井重喜 主幹
(派遣期間：平成24年4月～平成25年3月)

税務課 個人住民税課税担当

昨年の4月、全国の自治体から派遣された約30人の職員の中で、女性は私1人でした。が、南相馬市の職員にとても温かく受け入れていただきました。現地では、震災後の市民の健康支援を考えための勉強会や検討会が熱心に行われており、私も参加させてもらうことで、震災の実例を基に多くのことを学ぶことができ、貴重な経験となりました。

半年の派遣期間中、主に応急仮設住宅や借り上げ住宅を訪問し、入居されている被災者の健康調査や健康相談を行ってきました。この経験を今後も活用していきたいです。もちろん、放射線への心配もまだ解消されておらず、人々は不安な日々を過ごしています。これらの課題を現地の職員と一緒に考え、検討を重ねることができたことは、今後、牧之原市民の健康を考える上で大いに役立つと感じ、今後に生かしたいと思います。



約1万個の積み木に囲まれ、城を作って遊ぶ園児

積み木と一緒に笑顔も積んだよ

■積み木ランド／あおぞら保育園

あおぞら保育園園児98人が1月21日、同園ホールに用意された積み木約1万個で遊びました。

同園保護者会が「たくさんの積み木で遊ばせたい」と製材業者に依頼したもの。積み木は大井川流域の杉やヒノキで作られたもので、軽くて角がなく、安全に遊ぶことができます。

園児らは、木の香りがするたくさんの積み木に目を輝かせ、「いい匂いがする」「おもしろい」とお城などを思い思いに創造力を膨らませながら、楽しく作っていました。

夢を追い、第二の匠馬を目指せ

■ドリーム教育講演会／萩間小学校

ドリーム教育講演会が1月11日、萩間小学校で行われ、全校児童133人が参加しました。

児童生徒に対して、目標に向かい志を持ってもらうように開催しているもので、講師は本市出身のJリーガーで清水エスパルスからセレッソ大阪に移籍している枝村匠馬選手。同選手は、「新しいスタートを大切にしてほしい」と児童にメッセージを送りました。講演後の実技披露では、リフティングや児童とのドリブル対決、ミニゲームなどでプロの技を披露し、児童と一緒に交流しました。



児童とドリブル対決をする枝村選手

給食っておいしいね

■学校給食展

学校給食展が1月25日、市学校給食センターで開かれ、親子連れなど約60人が参加しました。

学校給食の大切さや給食への理解を深めてもらうと実施しているもので、見学者は学校給食の歴史年表や調理場を熱心に見学しました。

給食の試食では、地元食材を使った「マキティーふるさとカレー」が給食用にアレンジされ、未就学児を持つ親は、「栄養のバランスも取れ、おいしいので安心して子どもに食べさせることができる」と話してくれました。



おいしそうに給食を味わう親子

**懐紙で新しい茶文化を紹介**

■懐紙の使い方講座

茶席で和菓子を取り分ける際に使う「懐紙」の使い方講座が1月22日、市役所相良庁舎で開かれ、茶業関係者など約40人が参加しました。

多目的な懐紙の便利な使い方を学び、新たな茶文化に生かそうと市茶業振興協議会が企画。京都の老舗懐紙専門店「辻徳」から辻亜月子さんを講師に招き、「書く、包む、拭く、置く」など多様な用途やさまざまな折り方を学びました。参加者は、「懐紙は敷居が高いものと思っていたが、折り方も簡単で生活に役立ちそう」と語ってくれました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎ (23) 0052 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

**市の発展を願う**

■平成25年牧之原市新春初顔合わせ会

平成25年牧之原市新春初顔合わせ会が1月7日、地頭方のマイハートうおともで開かれ、市内の企業や団体の代表者ら約250人が出席しました。

西原市長が、「安定と安全はどちらも手をこねないでいては何もできない。連携して挑戦を」と年頭のあいさつ。出席者は、静岡牧之原茶で乾杯した後、さまざまな種類のお茶と市内菓子店自慢の菓子を味わいながら、互いに今年の抱負を語り合うなど交流を深め、市の発展を願いました。

会に先立ち、地方自治や教育文化など市に対して功績のあった13個人と1団体、1組を表彰しました。



水野隆地区長会長の音頭により、静岡牧之原茶で乾杯

今年1年健康で過ごせますように

■どんど焼き／牧之原保育園

牧之原保育園は1月8日、園庭でどんど焼きを行い、園児68人が参加しました。

昨年末に、園児らが地域のお年寄りと共に製作した正月飾りを持ち寄って燃やす同園の恒例行事。園児らはお飾りを燃やし、その火に当たって、今年1年の無病息災を祈りました。

また、園児らは焼いた餅をノリとしょうゆで磯辺焼きにして、「熱いけどおいしい」「もっと食べたい。お餅大好き」とうれしそうに頬張っていました。



正月飾りを焼いた火で餅を焼く園児



一斉放水する消防団員

地域の防災リーダーとして活動

■平成25年牧之原市消防団出初め式

平成25年牧之原市消防団出初め式が1月6日、相良中学校で行われ、団員421人が参加しました。

式では、勤続5年以上の団員や功績のあった団員に対して表彰が行われ、日ごろの功労がたたえられました。鈴木雅志團長は、「われわれ団員は、地域の防災リーダーとしての役割と多様化する災害に対応できるように活動しなくてはならない」と訓示を述べました。

式後、グラウンドで操法が行われ、団員らの日ごろ訓練の成果が披露されました。

榛原図書館は2月12日から閉館しています。4月2日から榛原文化センター会館棟で業務を再開します。

なんていいんだぼくのせかい

荒井良二著
集英社刊



荒井良二が地球のすべての子どもと大人に贈る！
小さな家に生まれた子どもが言う。「なんていいんだぼくのせかい」。毎日楽しく幸せに成長した子どもが、突然、泣く。そしてまた新たに…。「再生」の物語は、100年後の世界でも読み継がれる絵本！

残り全部バケーション

伊坂幸太郎著
集英社刊



人生の〈小さな奇跡〉の物語。夫の浮気が原因で離婚する夫婦と、その一人娘。ひょんなことから、「家族解散前の思い出」として〈岡田〉と名乗る男とドライブすることに— 第一章「残り全部バケーション」他、五章構成の連作集。

新しい「年金」 まるわかり・早わかり

田中章二著
中央経済社刊



国民年金、厚生年金、共済年金のしくみから各種手続、有利な受給方法までこれ1冊でわかる！
第1章_年金の基礎知識、第2章_老齢年金の受給資格、第3章_60歳台前半の老齢年金など全8章構成です。

夫は犬だと思えばいい。

高濱正伸著
集英社刊



カリスマ先生が贈る目からウロコの子育て論。いじめ、不登校、ひきこもり、ニート…。「時代の闇」へ、わが子を送らないために。何より大切なことは、夫婦のコミュニケーションであった！夫婦が変われば子どもは伸びる。

児	全	おとのさまのじてんしゃ	中川ひろたか
児	両	ふしぎなカメラ	辻村ノリアキ
児	両	わたしのゆたんぽ	きたむらさとし
般	両	55歳からのハローライフ	村上 龍

児……児童書 般……一般書

両……相良・榛原両図書館で借りることができます。

全……両図書館・ひまわり号で借りることができます。

相良図書館(相良保健センター2階)
榛原図書館(榛原庁舎2階ロビー)

☎⑤2649

☎⑤0094

開館時間 午前9時～午後5時

*水曜日は午後7時まで。

休館日 ▶毎週月曜日(祝日は開館) ▶年末年始

本の返却 午後7時まで相良・榛原両庁舎の警備室で
返却可能。(年末年始除く)

移動図書館ひまわり号巡回日程 - 3月

(写真で紹介している図書はひまわり号でも借りることができます)

1コース／3月5日火	5コース／3月19日火
2コース／3月6日水	* 6コース／3月21日木
3コース／3月12日火	7コース／3月26日火
4コース／3月13日水	8コース／3月27日水
* 3月21日は木曜運行です。運行表は図書館に置いてあります。	

人のうごき（牧之原市の人口）
POPULATION

■人口 49,231人（前月比-28人）
(内外国人 1,226人)
男性 24,220人 女性 25,011人
出生 37人 死亡 55人
転入 115人 転出 98人
そのほか -27人
■世帯数 16,226世帯（前月比-23世帯）
*平成24年7月の住民基本台帳法の改正
以降、外国人が含まれます。
平成25年1月31日現在（住民基本台帳人口）

忘れないで（税の納付期限など）
TAX etc

3月の納期一覧
後期高齢者医療保険料 第8期 4月1日㈪
保育料 3月分 4月1日㈪
市営住宅使用料 3月分 4月1日㈪

トップページ（表紙のお話）
TOP PAGE



5月上旬まで大鐘家で開催されている「つるし雛展」。「桃飾り」とも呼ばれるちりめんの古布を使った手縫いのツルやカメなどの縁起物を飾った作品約120点を展示。きめ細やかな作品には、子どもの健やかな成長を願う親や地域の思いが込められている。

待っています（広報紙の感想）
READERS VOICE

読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、
牧之原市への思いなどを待っています。
〒421-0495 静波447番地1 秘書広報課
E-mail:seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



やぎ かどる
八木 惇くん(3歳)
平成22年2月8日生(細江)
★3歳あめでとう！★
いつも笑顔で元気いっぱいな
サトルがみんな大好き♪



ますだ ゆうと
増田 悠人くん(3歳)
平成21年4月5日生(細江)
いつも元気な悠ちゃん♥あ手
伝いしてくれてありがとうございます★
友達といっぱい遊ぼうね♪



よこやま はるひこ
横山 晴彦くん(1歳)
平成23年11月10日生(波津)
本と音楽に合わせて踊るのが
大好きな晴彦★元気にたくま
しく大きくなれ！



ながた ひとみ
永田 和ちゃん(0歳)
平成24年3月21日生(細江)
食いしん坊で淋しがり屋さん
★みんな和の可愛らしい笑顔
が大好きだよ♥



くわばら みわ
紅林 美羽ちゃん(3歳)
平成22年1月22日生(地頭方)
動物園で楽しい一日を過ごした
美羽ちゃんです♥幼稚園で友達
いっぱい作って遊ぼうね♪



しばた かい
柴田 横くん(1歳)
平成23年10月8日生(静波)
いつもニコニコ笑ってる横くん♪
ママ譲りの笑顔でいつも
パパは癒されています★

元気なKIDS募集中

4・5・6月号の掲載希望のキッズを受け付けます。
申込時間を守って、電話で申し込みをしてください。

申込日時 3月5日㈫ 午前8時15分～

申込資格 掲載時に市内在住の4歳未満の子ども
申込先 秘書広報課 ☎052

新成人が生まれた1992年-1993年の出来事

世界では…

バルセロナオリンピック開催 (92. 7. 25~8. 9)
ビル・クリントン氏、アメリカ合衆国大統領選挙に当選 (92. 11. 3)

日本では…

バルセロナオリンピック競泳女子200m平泳ぎで岩崎恭子さんが史上最年少で金メダルを獲得 (92. 7. 27)
毎月第2土曜日が休みとなる「学校週5日制」実施 (92. 9. 12)
毛利衛さんが宇宙空間に向けて出発 (92. 9. 12)

牧之原市では…

牧之原警察署(旧榛原警察署)が新庁舎で業務を開始 (93. 2. 22)
東名高速道路相良牧之原インターチェンジが開通 (93. 3. 25)



1 「ここにいる仲間が、何年経っても牧之原市が好きで住んでいたくなるようなまちにしていきたい」と誓いの言葉を述べる山本さん 2 吉村さんは「春から、小さいころからの夢であった保育士になる。これからは社会を支える側となって頑張っていきたい」と力強く述べた 3 今年から「いーら」での開催 4 友人と久しぶりの再会を喜び合う新成人 5, 10 人生の節目を祝うかのように晴天に恵まれ、晴れやかな着物と笑顔で記念撮影 6 市長から記念品を受け取る植田さん(右)と野村さん(中央) 7 晴れの日に親子一緒に一枚 8 数多くの中・高校生がボランティアとして参加 9 式典に臨む新成人。晴れ着姿に会場は華やかな雰囲気に包まれた



平成25年 牧之原市成人式 笑顔の門出

が1月13日、相良総合センターいちらで開かれ、新成人543人のうち435人が参加しました。式典では、西原市長が「災害など不安は多々あるが、乗り越えていく勇気を持ち、夢を抱いていいってもらいたい」と新成人を激励。新成人を代表して、山本恭平さんと吉村鈴菜さんが誓いの言葉で、これまでの感謝と今後の抱負を語りました。記念品贈呈では、野村謙介さんと植田未希さんが、市長から記念品のお茶と急須を受け取りました。司会を務めた相良高等学校の生徒をはじめ、受付や会場案内などに市内の中・高校生24人がボランティアとして参加し、式の運営を支えてくれました。新成人は希望に満ち溢れた表情で、あらためて大人になる決意を誓いました。



輝け!未来

いび・ふたば

地頭方小6年 地頭方区
双葉さん

揖斐

東日本の復興を願い、地頭方のこれから を考えていきたい

2011年3月11日。東日本大震災がありました。この地震で大きな被害を受けた東日本の人たちが一日でも早く元気になるために、私たち地頭方小学校では「3.11募金」をしました。「かがやき学習」の時間に地震雲について調べました。地震の怖さも知りました。東日本の復興を願うとともに、私たち地頭方のこれからを考えていきたいと思います。

▼成人式で晴れの門出を祝い、新成人の笑顔をたくさん掲載したく、個別写真を撮影▼多くの方に協力いただき、誠にありがとうございました。本当に撮影した全員を載せたかったのですが、紙面の都合上、申し訳ございません▼旧友と笑顔で談笑する新成人。彼らと一回り違う私は、自分のころを懐かしく思い出し、いつまでもフレッシュな気持ちで人生を歩んでいくことを気分を新たにしました▼新入生の皆さん、本当におめでとうございます。

▼「きれいになつて気持ちがいい」と笑顔を見せる一輪車クラブの小学生、吹き矢が的に的中して大喜びする人たち、ファミリー・バトミントンを楽しむ親子連れの姿など、耐震補強工事が完了した静波体育馆には、たくさんの笑顔があふれています▼波津の小堤山公園も1月末に園内の照明工事が完了し、夜間でも安心してウォーキングが楽しめます▼多くの皆さんに利用していくだけ、体を動かす楽しさや汗を流すことの心地よさを感じてもらえた嬉しさです。

ペンを置いてー 編集後記